

「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」の論点整理に向けた委員意見の整理

中間とりまとめ

人口減少により生じる課題・対応等

【県の区域内における人口の都市集中（人口格差）への対応】

- ・各市町や地域における人口減少の課題もあるが、広域自治体である県としてその区域内で人口の都市集中（人口格差）が生じているという観点から、広域自治体の議会としてどういう代表選出であるべきかを考えてはどうか。

【市町の役割の補完など広域自治体として果たすべき役割の増加】

- ・今後、人口減少が進む市町においては行政基盤が脆弱になり、そのときには、これまで市町が果たしてきた役割を県が補完するなど、広域自治体としての県が果たすべき役割が大きくなる可能性がある。そうしたときには、県議会に代表されるべき民意・利益も従来とは異なってくるのではないかと。例えば、これまで市町議会で代表されていた民意や利益を県議会で代表するような仕組みも考えていかなければならないのではないかと。

【施策等の方向性や優先順位の適切な決定】

- ・人口減少への対応に当たって、県全体の発展を考えたときには、人口減少の厳しい地域を優先するという考え方もある一方で、人口の集中する地域における雇用や産業の安定を優先的に図るという考え方もあり得る。そうした考え方をとったときに、どういった議会の在り方があるのかという整理ができるのではないかと。

県議会・議員の在り方や果たすべき役割

【代表性の問題】

- ・代表性の問題や選挙の実効性が確保できているかという視点からの議論が必要ではないか。
- ・民主主義の質が問われているという観点が必要ではないか。
- ・議会において属性的反映性が確保できているのかどうかという観点が必要ではないか。

【地域代表としての役割】

- ・県議会議員は何を代表しているのか、地域代表として機能しているのか、あるいは地域代表であるべきなのかどうかといった視点から考えてはどうか。
- ・それぞれの地域における県議会議員の役割はどういったものであり、議員数が減ることによって生じる不都合があるのかどうか、そして、その不都合は行政的な措置等で補完することはできないのかどうかという視点から考えてはどうか。

県議会の議員定数及び選挙区の在り方

【1票の平等性について】

- ・1票の平等性として、政治的な参加の平等性と社会的な帰結の平等性があり、調査会においてどちらが正しいのかを決めることは難しい。
- ・政治的な参加の平等性について考えたときに、必ずしも議員数を減らさなければならないわけではなく、コストを他で減らすこと等により議員数を増やすことで、それを確保するということもあり得るし、社会的な帰結の平等性について考えたときには、例えば議員数が減ったとしても、それに代わる代替措置を講ずることで、それを確保するということもあり得るのではないかと。

【選挙の競争性について】

- ・1人区の無投票率が高いなど、選挙の競争性が低いという状況がある中で、立候補のしやすさ等の観点から、そこでどのような選挙が行われているのか、代表性の問題や選挙の実効性が確保できているかという視点からの議論が必要ではないか。
- ・例えば、各地域に1人県議会議員がいることが良いと主張した際に、1人区が増えても良いのかどうか、その関係性を整理する必要があるのではないかと。

【県議会の議員定数及び選挙区の在り方と県の政策等との関係】

- ・議会において県の政策や方向性が決定されるのであるから、定数・選挙区の在り方を決めること自体が、県の政策等の決定に影響を与えるおそれがあるということに留意する必要があるのではないかと。